

ピートモスを活用した土づくり。

「臭い」や「土のアルカリ化低減」の対策に におい

■ こんな場合、お勧めします。

- ピートモスは悪臭が無いので、住宅地周辺での土づくりに。
- 土のpHが高くなってきた、アルカリ化傾向の畑に。
- 緑肥の栽培とスキ込みができなかった場合、その代わりに。

■ ピートモスの使い方

○ 使用方法(事例)

300坪あたり **ピートモス10袋～20袋**、
耕耘してよく混ぜる。

※堆肥1トン～2トンに相当する有機物が補給できる。

○ 使用時期

定植(種まき)の2週間前～1ヶ月前に行う。



■ 使用の注意点

① ピートモスのpHは低いので・・・

・**ピートモスは、pH4～5の酸性**。土のpHを下げたくない場合や酸性土壌への使用には注意してください。

・ピートモスのpHを中性近くまで整えたい場合は、1袋につき、**タンカル1～2kg**を加えることで、概ねpH6～7 となります。

② ピートモスは保水力が高い。しかし、

乾燥したものは、水をはじく性質がある。

・開封後、ピートモスを畑に広げて、軽く散水して水を含ませてから耕耘する。(散水の翌日の耕耘でもよい。)

・この性質から、かん水設備が整っている圃場で使用が望ましい。

◆ 問い合わせ先 琉球肥料(株)普及推進課 ☎098-938-5566 ◆